

令和7年度（2025年度）北海道立特別支援教育センター運営懇談会 議事録

1 日時：令和7年（2025年）11月12日（水）13時30分～15時00分

2 場所：北海道立特別支援教育センター 大研修室

3 方法：ウェブ会議システム（Zoom）による

4 出席者

(1) 構成員

松本 将 勝（滝上町教育委員会教育長）
青山 眞 二（北海道教育大学函館校特任教授）
瀧澤 聡（北翔大学教授）
水堀 武 彦（北海道はまなす食品株式会社能力開発センター長）
田古 広（札幌市立元町北小学校長）
岩崎 弘 之（北海道大麻高等学校長）
上村 喜 明（北海道札幌養護学校長）
人見 嘉 哲（北海道立心身障害者総合相談所長）
山谷 信 夫（北海道中央児童相談所長）

(2) 事務局：北海道立特別支援教育センター

柏木 拓 也（所長）
今井 哲 也（副所長）
三浦 貴 徳（教育課長）
菅原 和 真（主査（総括））
岡森 博 宣（教育課主査、知的障がい教育室長）
日小田 泰 昭（教育課主査、自閉症・情緒障がい教育室長）
迎 晶 子（教育課主査、視覚障がい教育室長）
大西 修（教育課主任研究員、肢体不自由・病弱教育室長）
島田 慎 平（教育課研究員、聴覚・言語障がい教育室長）
荒井 美 聡（教育課研究員、発達障がい教育室長）
各障がい教育室研究員及び庶務課主事 他7名

5 議事

※運営懇談会次第に基づき、事務局から「令和7年度の運営及び成果等」、「令和8年度の方針性」、「令和7年度の予算及び令和8年度の予算の方針性」について説明し、意見交換を行った。

（○ 構成員の意見等 ● 事務局の意見等）

○上村委員

巡回教育相談において、外国籍児童や日本語指導が必要な児童への相談の現状について伺いたい。

●岡森主査

巡回教育相談の状況から、地域によるところも多いが、外国籍児童の相談は一定数存在する。生まれたときや幼少期から日本に在住していて、日本語を母語としているケースが多く、日常生活で外国語を主に使用しているようなお子さんのケースは少ない。

○瀧澤委員

特別支援教育SV（スーパーバイザー）について、民間資格の特別支援教育士SVと表記が混同されやすいと考える。

●三浦課長

本資料におけるSVは、北海道管内の14教育局の指導主事を指しており、民間資格の特別支援教育士ではない。表記が紛らわしいことから、今後修正・改善する。

○田古委員

研修や情報発信の効果について、SNSやオンライン活用による情報提供が、教員や保護者への周知・関心喚起に有効であると評価している。

●三浦課長

当センターでは、研修内容や成果を適宜SNSで発信し、関係者に広く共有している。情報のタイムリーさを意識し、各地域への研修情報の拡散にも活用している。

○瀧澤委員

北海道の教員採用候補者選考の併願制度の導入により、特別支援学校教員免許を取得する学生が年々増加していることから、実習校の確保状況や受け入れの実態を把握するため、調査の実施をお願いしたい。

●迎主査

教育実習についていただいたご意見については、関係する窓口に伝えていく。なお、教員のなり手不足における現状について、今年度の当センターの調査・研究事業部の特定課題研究として調査することから、内容がまとまり次第、調査結果について情報提供を行う予定である。

○山谷委員

（児童相談所における一時保護中の子どもが学校に通学できず、個々の特性に応じた学習支援の確保が課題であることから）児童相談所の学習指導員が、特別な支援を必要とする児童生徒についての関わり方や支援の方法などの知識を高めるために、研修動画やICT教材などをオンラインで提供するなど、教育・学習支援に関する情報発信の拡充をお願いしたい。

●日小田主査

当センターでは、ホームページ内の「研修」タブからアクセスできる「特センライブラリ」において、知的障害や発達障害（自閉症・LD・ADHDなど）の子どもの特性や行動について解説した研修動画を配信していることから、ぜひ活用してほしい。具体的な子どもの支援に関する相談や不明点があれば、来所や連携の機会に気軽に声を掛けていただき、今後も連携を一層強化していきたい。

○青山委員

特別支援教育に関する知識は、特別支援教育に直接関わる先生だけでなく、通常の学級で指導にあたる先生にも理解してもらうことが必要であり、加えて、子どもたちが学力や能力の差に関わらず、多様な生き方があることを学ぶ機会を増やすことが望ましいが、令和8年度の運営方針には通常の学級の先生を対象にした研修の方向性や内容が示されていない。対象となる先生の数が増大であることから、単に研修を開催した数を示すだけでは十分でなく、より多くの先生が参加できる方法を工夫してほしい。

●荒井室長

今年度は通級指導教室の先生だけではなく、通常の学級の先生も対象に情報交流会を実施した。参加率はまだ低いものの、参加した先生からは、良い経験になったという感想が寄せられた。次年度は情報交流会に加え、通常の学級の先生を対象とした研修も充実させる予定である。